

大関のこども

11月後半号

R2 校長室だより 第13号
令和2年 11月20日

HP アドレス
<http://www.ozeki.ed.jp>

縦割り班活動の取り組みは、 「生きる力」を身につける活動です！

校長 濱辺 弘一

縦割り班での活動は、子どもの成長には欠かせないものです。6年生には、学校のリーダーとしての自覚や行動力、下級生に対する思いやりなどの力が養われ、自尊感情も高まります。下の学年の児童にとっても、上級生に対するあこがれの気持ちをもったり、自分の次の学年の姿がはっきり見えてどう行動していくといいかが分かってきたりします。そういう意味で、9月の運動会での応援合戦は、子どもたちが一回りも二回りも成長したと感じました。

11月16日(月)に、“大関フェスティバル”の事前活動として、縦割り班活動を行いました。「何をするか?」「どのようにするか?」「1年生も楽しめるか?」等の話し合いが事前になされていたので、どの班も楽しく活動することができました。しかし、最初はスムーズにいかなかったところがみられた等、反省すべき点もいくつかできました。これらの点は、次回集大成として行う“大関フェスティバル”に生かしていくこととなります。

現在、6年生は、“大関フェスティバル”のゲーム内容の構想を練ったり、楽しくゲームをしてもらう準備をしたりして、企画・準備を進めています。5年生はお店の看板づくり、4年生はお店のCMづくりが担当です。また、当日には、4～6年生は、ゲームの説明、進行、集計等に分かれてお店の運営もします。まるで、イベント会社の社員みたいな仕事ぶりです。縦割り班活動は、まさに、社会に出たときの生きる力を身につけていく活動になっているわけです。

さらに、3学期には、5年生が中心となって、“6年生を送る会”を行います。6年生への恩返し of 気持ちをこめて行われますが、学校のリーダーという役目が、6年生から5年生へとバトンタッチされます。このようにして、『大関小学校の伝統』が引き継がれていきます。子どもたちが行う縦割り班活動の意義をご理解いただき、一生懸命活動している子どもたちの背中をそっとプッシュしていただくような温かい声かけをお願いいたします。



コロナに負けない！
8つの約束

- ま** スクで守ろう、自分と相手
- け** んおんで、毎朝体温チェック
- る** ーを守って、コロナ予防
- な** やみがあれば、すぐ相談
- お** おきな声は、ひかえよう
- お** たがいの距離は、ソーシャルディスタンス
- ぜ** んいんで、しっかり手あらい30秒
- き** れいな空気、換気しよう

『大関フェスティバル』の準備は任せてください！ 4～6年生が、自分たちで考え、工夫しています！！

11月27日(金)に予定している「大関フェスティバル」に向けて、4～6年生の準備が佳境を迎えています。4年生は、お店のCMづくりを担当。18日(水)に全校に発表しました。お店の特徴を大きな声でわかりやすく説明しました。5年生は、お店の看板と景品づくりです。タブレットで「鬼滅の刃」の折り紙動画を見ながら、一心に作っています。喜んでくれること間違いなしですね。6年生は、お店づくりです。どうしたらゲームを楽しんでもらえるか工夫を凝らしながら頑張っています。



4年生のCM発表



6年生のお店づくり



5年生の看板・景品づくり

坂井中校区 小中連携事業交流会「中学校授業体験!」 中学校生活に向けて新たな気持ちづくり!!

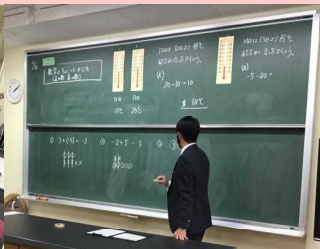
11月13日(金) 坂井中学校区の小中連携事業「中学校授業体験」に参加しました。新型コロナウイルスの影響で、6年生全員が体育館いっぱいに広がって行うオリエンテーションから始まりました。授業は、数学・理科・英語・美術・家庭・技術の教科の中から自分で希望します。他の小学校の児童と一緒に受けました。緊張しながらも、ちょっとレベルアップされた授業に取り組みました。



オリエンテーション



理科



英語



家庭科



美術



技術



お礼の言葉

1年生 チューリップの球根を植えました!!

1年生は、生活科の学習で、チューリップの球根を植えました。朝顔の種で一度植えているので、手慣れたものです。種よりも大きい球根をしっかりと植えました。これから雪降る冬になりますが、春には何色の花が咲くのか、楽しみです。



「大関地区クリーンアップ大作戦!」報告会!

3日(火)に行った「大関地区クリーンアップ大作戦」の報告会を、5年生が行いました。ごみを拾っている活動の様子を写真で見せながら、どんな種類のごみが多いか、ポイ捨てをなくすためにはどういった対策が考えられるかなどを、ていねいに説明しました。



大関きらら独り言

親野智可等(おやの ちから)という教育評論家をご存じですか?その人のコラムに『親野智可等の「しつけの7か条」で、親も子も楽になり幸せになる』というのがありました。

大切なことを「しつけの7か条」としてまとめます。

1, よい見本になる

親が自ら、日頃から、正しい言葉を使っていることが必要。しかも、心から喜んで気持ちよく、です。よい見本があれば、モデリング効果が働いて、子どもが真似するようになります。

2, ほめる

3, 価値づけ・啓発をする

「こうときは『ごめん』で言おうね」「気持ちよく謝ってくれてうれしいわ」など、その言葉の価値を教えることも大切。

4, できないからと言って叱らない

5, 叱らないで穏やかに言って聞かせる

6, 叱らないで手伝える。やってあげる

叱られてばかりの子は、「ぼくはダメだ。どうせできない」と思い込み、ますますできなくなる。「やってあげるといつまでも自分でできない。自立ができない」などと思い込まないで、やってあげる。

7, 後は時期が来るのを待つだけ

どの子もオリジナルなペースで成長する。親にできることをしてあげつつ、後は待つことが大事。

自己肯定感を育ててながら待っていれば、時機が熟したときにできるようになる。

この親野智可等の「しつけの7か条」で、親も子も楽になり幸せになります。